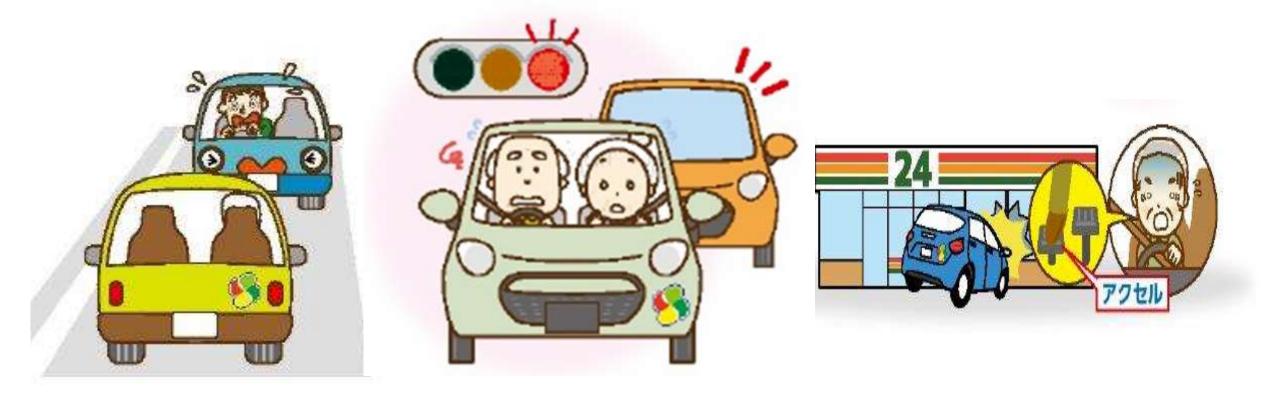
高齢者ドライバーのための

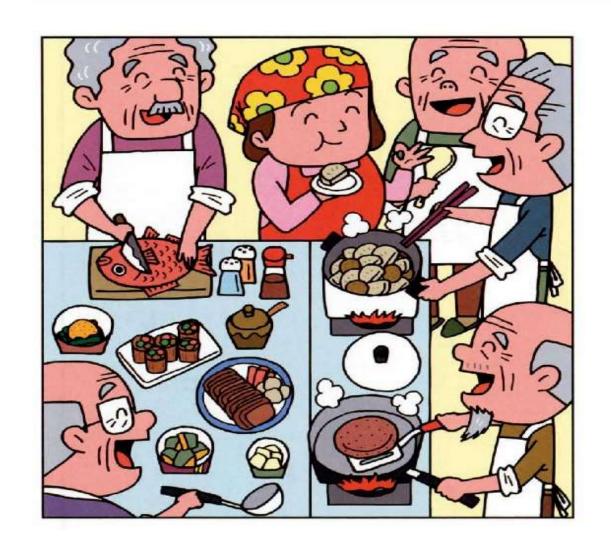
交通安全講習

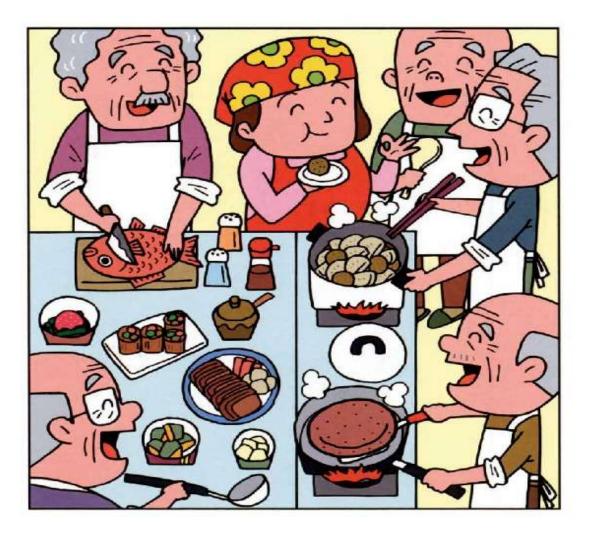


埼玉県警察本部交通部交通総務課



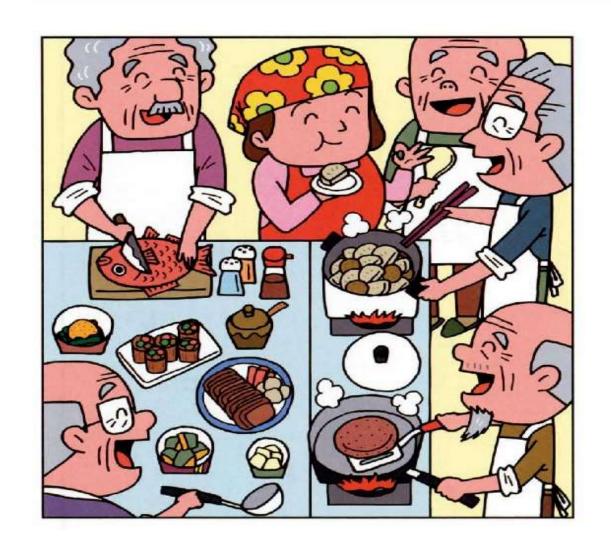
間違いをさがしましょう(9つ)

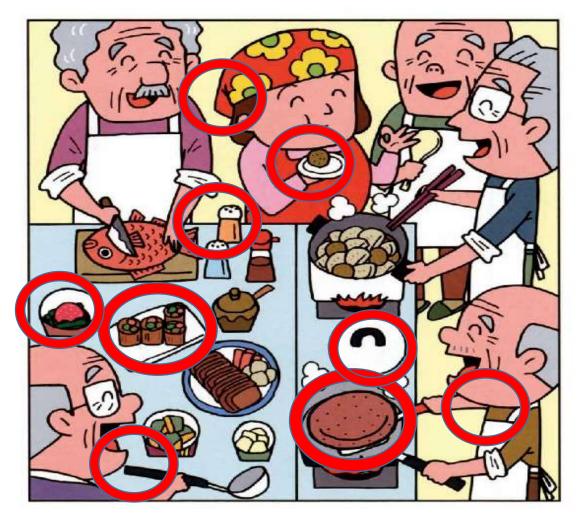






間違いをさがしましょう(9つ)



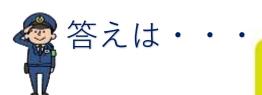






高齢運転者の交通事故原因の1位は次のうちのどれでしょうか?

- ① 一時不停止
- ② ハンドル操作
- 3 安全不確認



交通事故原因 (埼玉県内)

安全不確認 第1位

第2位 脇見

第3位 動静不注視

約70%

うっかり ぼんやり運転

高齢運転者の交通事故原因は 安全不確認·脇見運転· 動静不注視•漫然運転 などが約7割近くを占める。



運転の三要素

一番多いのは 「認知」ミス!

認知一判断一操作

どの要素が原因で交通事故が発生しているか?

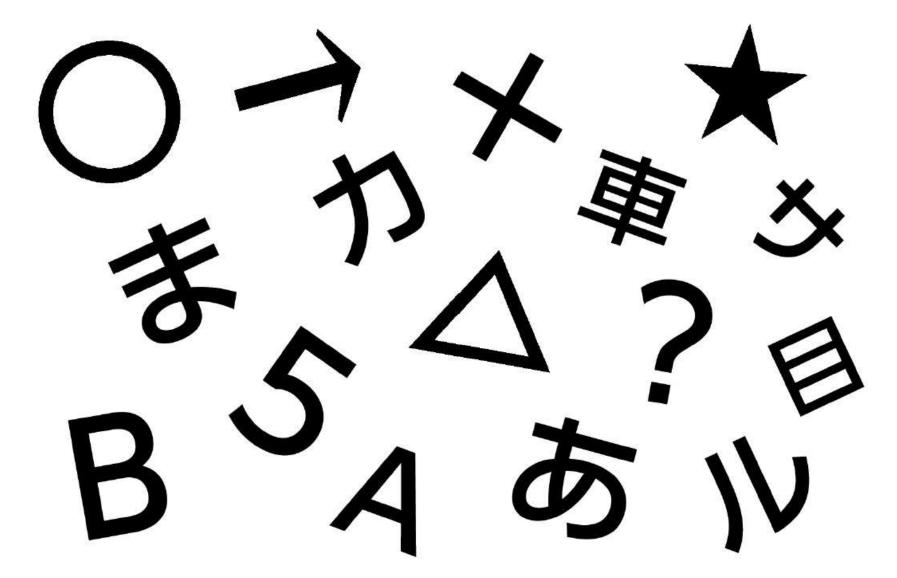
ポイント



車の運転は認知・判断・操作という3つの作業で成り立っており刻々と変化する交通環境の中で、この3つの作業をいかに適切に行うかが安全運転のカギである。



瞬間的に(3秒くらい)見ていくつ覚えられますか?1・2・3

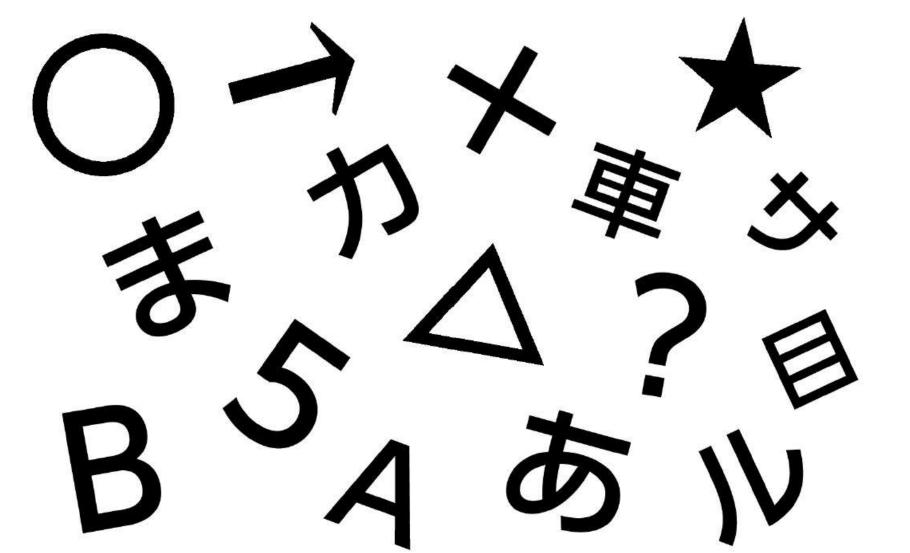


瞬間的に(3秒くらい)見ていくつ覚えられましたか?

次はカタカナをさがしてみてください

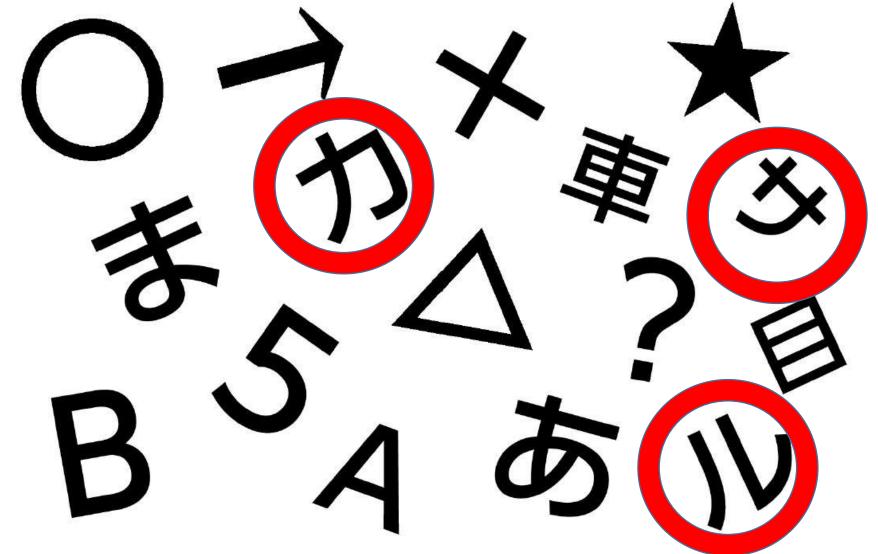


瞬間的に(3秒くらい)見てカタカナをさがしだしてください 1・2・3





答え カタカナはカ・サ・ル



さがしだせましたか?



瞬間視の限界

大切なのは 目的意識を 持って見る しっかり見れば見落としなどするはずがないと思っていませんか?

運転中、安全を確認するために 見る時間は? -

せいぜい1秒程度

1秒程度の「瞬間視」で確認できる 情報量は?



簡単な文字や記号でも 5~6個が限度

結果的には?



「見落とし」

先程のカタ カナをさが しだす要領

肝心な危険を見落とさないためには・・・

漠然と「見る」のではなく「事故に直結するような危険を探し出す」という目的意識をもって見ることの励行





コリジョンコース現象

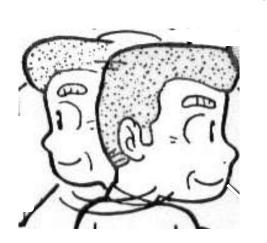






人間の視覚能力の特性

首を振って 良く見える 部分を確保



よく見える部分

~ 左右両方の目で同時に見える部分 ~

正面の30度位は、左

\

中心視野

30

右両方の目で同時に 見ているので、敏感 に反応できる! 中心視野

30

なんとなく 見える部分

周辺視野

中心視野から外れた部分で、こ の部分は右片目の注意力が落 ちてしまい左の片方の目でしか

見える部分

周辺視野

! 見ることができない!

①



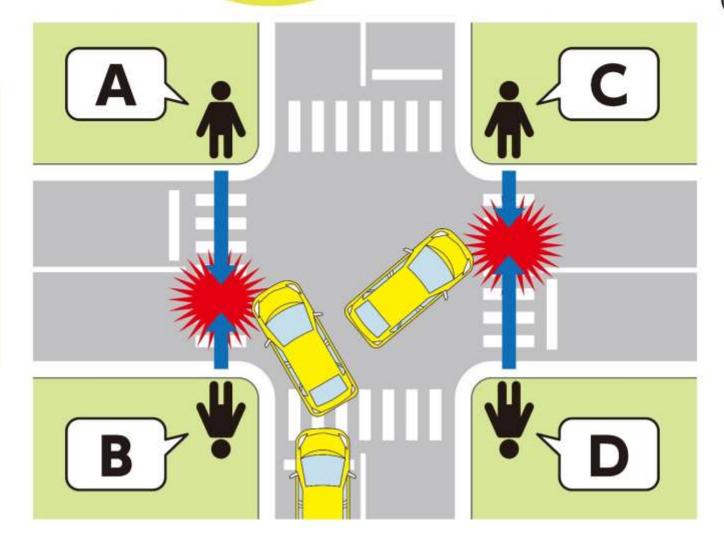
周辺部…動きを識別 中心部…色や形を識別



交差点における車両と横断歩行者の人身事故

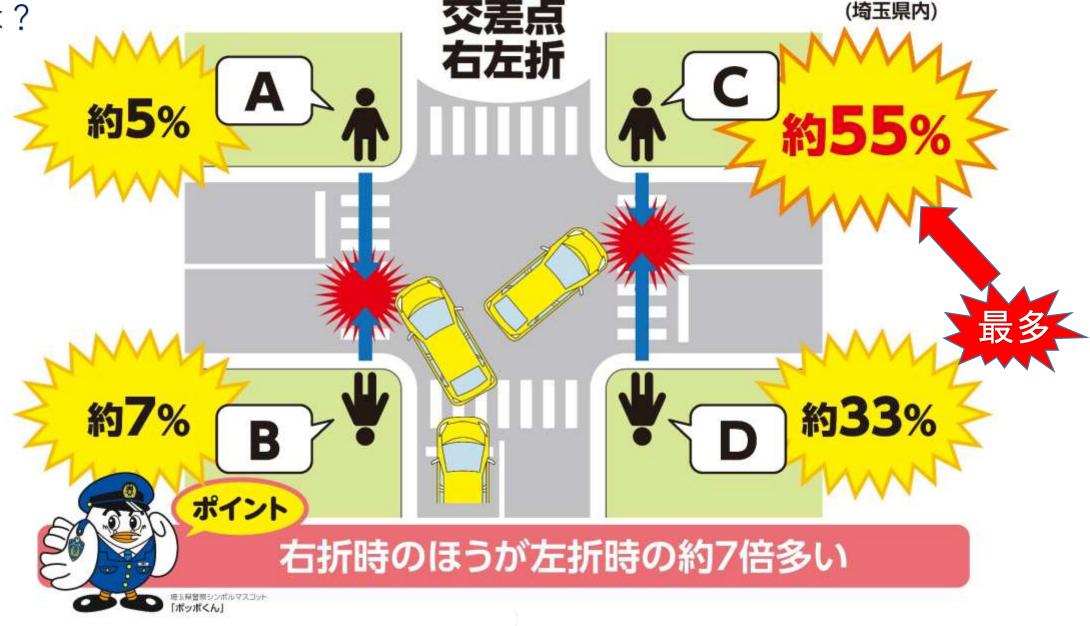
(原付以上)

(埼玉県内)





答えは?



- 交差点は交通事故が多発します!特に注意して通過してください





ブレーキとアクセルの踏み間違いによる交通事故の割合

3.5 1,697件中 足元を確認! 36件 2.1% 2.5 ゆっくりアク セルを踏み 1.5 2,021件中 38件 1.9% 11、055件中 0.5 78件

0.7%

高齢者以外

65~74歳

75歳以上

(令和6年中)

高齢者以外の運転者と比べ 65~74歳は約 2.7 倍! 75歳以上は約 3.0 倍!! に増加しています。





高齢運転者の交通事故事例

余裕を持って

標識や標示案内板を良く見て、「



- ●無理な進路変更
- ●対向車と正面衝突
- ●高速道路の逆走
- ●ブレーキとアクセルの踏み間違い
- 駐車場の段差を乗り越え暴走









高後部座席でも必ずシートベルトを着用しましょう

全席シートベルトの着用

非着用者は死亡率が高いです!



■正しい着用法





ポイント

- ◆ハイビームは約100m 先を照らします。また ロービームに比べ、右 からの横断者を発見し やすい
- ◆道路を横断する歩行者 を早期に発見するため、 先行車や対向車がいな い時は、ハイビームを 適切に使用する

早めのライト点灯















横断歩道は歩行者優先



「信号機のない横断歩道」の車の一時停止率

埼玉県は全国 平均以下!

※横断歩道の手前にマークが 必ずあるわけではありません。



「信号機のない横断歩道」の 車の一時停止率

(2024年 JAF調べ)

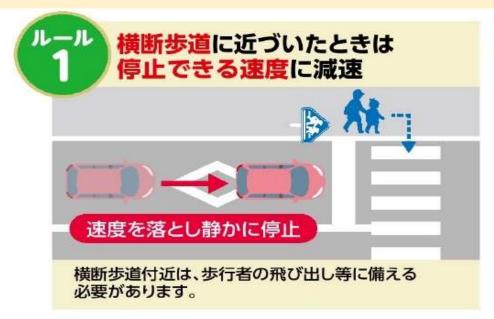
全国平均 53.0%

埼玉県50.8%

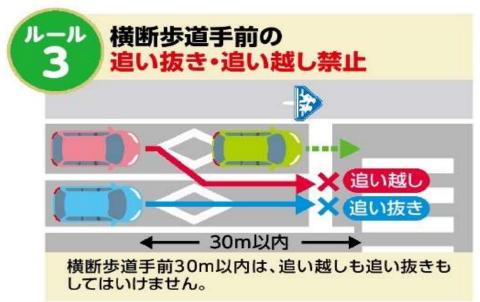
横断歩道は歩行者優先です!通過する際は歩行者等が周囲にいないかよく確認しましょう

横断歩道のルールあなたは大丈夫?

KEEP38プロジェクトとは道路交通法38条「歩行者優先義務」を遵守して模範運転を励行する取組みです











交通事故を起こした場合の措置

- 1 負傷者の救護 ケガ人がいる場合は、119番通報
- 2 危険防止の措置

車両等を安全な場所に移動させて二次被害を防止

3 警察官への報告

交通事故を起こした(遭った)場合は110番通報



交通事故を起こした場合の責任

- ・刑事上の責任
 - (拘禁刑・罰金・科料)
- ・民事上の責任

(損害賠償という形での金銭上の責任)

・行政上の責任

(運転免許証の取消し・停止)



免許証返納前にこんな選択肢ご存じですか?

安全運転サポート車&限定免許



サボカー

利用してみませんか?

サポカーには、どんな安全技術があるの?



衝突被害軽減ブレーキ

車載のレーダーやカメラにより、前方の 車両や歩行者を検知し、衝突の可能性がある 場合には、ドライバーに対して警報します。 さらに衝突の可能性が高い場合には、自動 でプレーキを作動します。

ペダル踏み間違い 急発進抑制装置

停止時や低速走行時に、車載のレーダー、カメラ、ソナーが前後の壁や車両 を検知している状態でアクセルを踏み 込んだ場合には、エンジン出力を抑え るなどにより、急加速を防止します。





運転継続か自主返納か 悩むわね~

中間的選択肢としてのサポートカー限定免許に切り替えて、安全に車を運転することも考えてみようか?





埼玉県警察シンボルマスコット 「ポッポくん」

「サポートカー限定免許」とは・・・

「サポートカー限定免許」は「運転することができる自動車の 範囲をサポートカーに限定する」条件が付いた運転免許制度 です。年齢などの制限はなく、運転者本人の申請により、条件 を免許に付与、又は変更することができます。 (付与できるのは現行の普通免許のみ)

運転免許の自主返納考えてみてください

運転の卒業

又は





このチェックリストは、「MCI(軽度認知障害)」や「認知症」の早期発見のきっかけとなる、車の運転時に現れやすい状態を30項目リストアップしたものです。 認知機能低下の早期発見のための一つの目安として、ぜひご活用ください。

「自分に当てはまる」と思う項目の □に √(チェック)を入れてください! 1 □ 車のキーや免許証などを探し回ることがある。 2 □ 今までできていたカーステレオやカーナビの操作ができなくなった。 3 □ トリップメーターの戻し方や時計の合わせ方がわからなくなった。 4 □ 機器や装置(アクセル、ブレーキ、ウィンカーなど)の名前を思い出せないことがある。 5 □ 道路標識の意味が思い出せないことがある。

6 □ スーパーなどの駐車場で自分の車を停めた位置が分からなくなることがある。
7
8 🗌 運転している途中で行き先を忘れてしまったことがある。
9 🗌 良く通る道なのに曲がる場所を間違えることがある。
10 車で出かけたのに他の交通手段で帰ってきたことがある。
11 運転中にバックミラー (ルーム、サイド) をあまり見なくなった。
12 アクセルとブレーキを間違えることがある。
13 <u></u> 曲がる際にウインカーを出し忘れることがある。
14
15 右折時に対向車の速度と距離の感覚がつかみにくくなった。
16
17 ■ 車間距離を一定に保つことが苦手になった。
18 高速道路を利用することが怖く(苦手に)なった。

20
22 □ 日時を間違えて目的地に行くことが多くなった。 23 □ 急発進や急ブレーキ、急ハンドルなど、運転が荒くなった(と言われるようになった)。 24 □ 交差点での右左折時に歩行者や自転車が急に現れて驚くことが多くなった。 25 □ 運転している時にミスをしたり危険な目にあったりすると頭の中が真っ白になる。 26 □ 好きだったドライブに行く回数が減った。 27 □ 同乗者と会話しながらの運転がしづらくなった。
23 □ 急発進や急ブレーキ、急ハンドルなど、運転が荒くなった(と言われるようになった)。 24 □ 交差点での右左折時に歩行者や自転車が急に現れて驚くことが多くなった。 25 □ 運転している時にミスをしたり危険な目にあったりすると頭の中が真っ白になる。 26 □ 好きだったドライブに行く回数が減った。 27 □ 同乗者と会話しながらの運転がしづらくなった。
 23
24
25
27
28 以前ほど車の汚れが気にならず、あまり洗車をしなくなった。
29 運転自体に興味がなくなった。
30 運転すると妙に疲れるようになった。

30間のうち5間以上にチェックが入った方は要注意です。安全運転を心掛けるとともに、認知症への移行を予防しましょう。

【提供】特定非営利活動法人高齢者安全運転支援研究会

【監修】日本認知症予防学会理事長 鳥取大学医学部保健学科教授 特定非営利活動法人高齢者安全運転支援研究会理事 浦上克哉 ※このチェックリストは今後の研究の進展により内容が変わる可能性があります。







お問い合わせは

埼玉県警察本部交通部交通総務課 安全対策第二係 ☎048-832-0110



埼玉県警察本部交通部交通総務課